

効果があるものと思われる。

#### 4. P T A 研究調査

##### (1) 目的

P T A の現状とその問題点を把握して改善の方向を見いだし、時代の進展に即応する望ましい P T A のあり方をもとめる。

##### (2) 主催

福島県教育委員会

福島県 P T A 連絡協議会

##### (3) 研究委員

福島大学教育学部教授 平井 博

同 古旗 安好

郡山女子大学短期大学部講師 長谷川 寿郎

福島市立福島第四中学校教諭 鈴木 忠良

福島市社会教育委員 今井 豊藏

福島県 P T A 連絡協議会長 濑戸 孝一

福島市立福島第一小学校長 沼崎 忠藏

福島市立福島第一中学校長 西沢 長吉

福島県教育庁社会教育課長 佐藤 正義

同 主幹 大越 源三郎

同課員および教育事務所担当者

##### (4) 実態調査項目

- ① P T A 会長の任期と子女の在学の有無および P T A における校長の立場について
- ② P T A の会員構成について
- ③ P T A の組織運営上の問題点について
- ④ P T A の予算について
- ⑤ 会員の教養を高めるための活動について
- ⑥ 児童生徒の校外生活指導活動について

##### (5) 調査結果の処理

- ① 調査の結果については信夫教育事務所三瓶秀次・岩瀬教育事務所佐藤二郎・両沼教育事務所斎藤正・いわき教育事務所江尻泰・県社会教育課石塚忠光の 5 名によって集計を行なった。
- ② 昭和44年度において P T A 研究委員会を開催し、調査結果の考察と改善の方向についてじゅうぶん研究討議を行ない、その結果を集録して「福島県の P T A (第2集)」として刊行する予定である。

#### 5. 婦人団体指導者研修会

##### (1) 趣旨

現在の社会の変遷の中で、婦人団体のもつ役割を検討し、健全な運営と活動の助長をはかるとともに、婦人資質の向上をはかり、婦人教育の振興に資する。

##### (2) 期日・会場・参加者数

昭和43年 7月15・16・17日

国立磐梯青年の家 109名

##### (3) 内容および方法

###### ① 研究課題

「地域社会の進展や婦人生活の変化に対応し、今日の課題に応ずる婦人団体活動の内容と方法はどうあつたら

よいか。」

##### ② 講演

- 「かしこい消費者」「婦人の健康」「期待される女性」

##### ③ 講義

- ア. 社会の変化と婦人生活
- イ. 婦人団体の種類、特質、歴史
- ウ. 団体の組織と運営
- エ. 集会のもち方、話し合いのしかた

##### ④ 研究部会 4 部会

###### 協議題 団体活動の現状

今後の婦人団体の活動

##### ⑤ 全体会 分科会報告 全体討議

##### ⑥ レクリエーション 歌と室内ゲーム

##### (4) 効果

本年度は各種団体のリーダーを対象として開催されてから 6 年目にあたる。従来は県下 4 会場において開催していたが本年度は県下 1 会場・2 泊 3 日で実施した。各団体から参加者も予定どおり出席し、なごやかなうちにも、規律正しい研修が行なわれ好評であった。今後の健全な地域活動が期待される。

#### 6. 婦人の国内研修

##### (1) 目的

県内の婦人団体、および婦人教育関係者を山形・秋田県に派遣し、農村地域における婦人に関する教育・文化・産業・生活・団体活動について実地視察・研究調査を行なうとともに、その地域の婦人との交歓を行なうことにより、社会的視野をひろめ、もって婦人の資質の向上ならびに明るい社会の建設に寄与する。

##### (2) 期日・派遣地

昭和43年 9月24日から 9月30日まで (6 泊 7 日)

山形県・秋田県

##### (3) 参加者

10名 (うち引率者 1 名)

##### (4) 視察調査地ならびに研修内容

調査地	内 容
東根市	○ 東根市連合婦人会との交歓 (農村における婦人会活動) ○ 社会福祉施設見学 老人休養施設・母子休養ホーム
大蔵村	○ 大蔵村婦人会との交歓会 (農村婦人会における調査活動)
増田町	○ 増田町婦人会・婦人学級との交歓会 (農村における婦人の学習活動)
秋田市	○ 秋田県の婦人教育
雄和村	○ 雄和村婦人学級との交歓会 (農村における婦人の学習活動)
秋田市	○ 秋田市社会施設見学 秋田県立美術館見学
大潟村	○ 大潟村干潟地農村見学 (新しい農村の経営について)